

チロル外国語スクール

学研英語～・小学生英語
英会話・韓国語・中国語
ドイツ語～大人（シニア含む）

サロン・ド・ソフィア

ピアノ（子供～シニア）
ライアー・ヨガ・太極拳
レンタルスペース

チロルは50周年を迎えます

一人一人の心を大切に

チロル&ソフィア便り
晩秋・冬号



小菊

『生はよきかな 病はよきかな
老いもよきかな 死もよきかな』

故 日野原重明先生の言葉より

TEL 092-214-7007
tyrolschool@jcom.home.ne.jp
福岡市南区長住 6-14-26

原 寛先生 追悼

新老人の会から元気100倶楽部へ

2016年5月15日アクロス福岡にて、第15回福岡支部フォーラムが日野原重明医師（104歳）をお迎えして講演会が開かれました。

この時のテーマは「いのちの使い方」でした。

私はこの講演会を前の日にPCで知り、慌てて次の日会場に走り込みました。運良く席があり尊敬している日野原先生のお話を聞くことができました。

暖かい人柄の通りでお話も心温まるものでした。

2001年9月に全国第1号の地方支部となる「新老人の会九州支部」が原 寛先生のご尽力で結成されました。

その後、九州・沖縄全県に支部ができたのを機に、九州支部は福岡支部と名称が変更しました。

日野原先生が提唱された「新老人運動」は高齢者の新しい生き方を、超高齢社会の日本から世界へ発信していこうというのが目的で、それが「新老人」の使命と考えておられました。

具体的には、▷自分らしく生きる。▷社会の一員として、自分の持てる力を発揮することをめざそう、というものです。

新しいことを創める。今までに経験していなかったことに思い切って挑戦し、新しい自分を発見する。私たちのからだの中には、これまで使ってこなかった遺伝子がたくさんある。勇気を持って今までできなかったことに挑戦してみよう。自分の中に新しいパワーを発見できる。

高齢者のそのような姿は、子や孫が同じ年を迎えた時の良きモデルとなるだろうとの理念でした。

原先生は日野原重明先生と共に「新老人の会」の活動を福岡支部世話人代表・九州連合代表として行ってこられました。2017年7月（105歳）に亡くなられた日野原先生の教えを受け継ぎ、2018年4月に、「元気100倶楽部」（新老人の会 福岡支部より移行）を設立、会長に就任。多くの方に生活習慣や予防医療の大切さを伝える為に全国で講演活動を行い、現代「養生学」を実証しておられた。

黒木鞠子

日野原医師の珠玉の言葉

75歳をすぎてから
第三の人生が始まる。
今までしたこと
ないことをやってみよう。

どんなに厳しい波風の中にも 平静に生
き、そして人生の最期を自然の贈物とし
て静かに受け取れるよう、
生涯を通じて学び続けたいと思います。

take good care
of yourself
あなた自身が
あなたの体を
コントロールして
健康になってください。

原 寛会長を偲ぶ

2025年10月16日 93才にて逝去



原先生がこの世にいらっやらないとは
何だか信じがたい…哀しいものです。

ガーデンパレスでの例会の時は細身の長身をしゃんとのばして、始めの
御挨拶を簡潔におっしゃっていたお姿はとても印象深いものがありました。

○

今年1月15日に天神での用事をすませ新天町の喫茶店サン・フカヤで一休み、その時フカヤの
ドアを開けてさっそうと入ってらした紳士が私の横の席へ。

“あら！原先生だわ！”と思い、思わずお声をおかけしました。

“原先生でいらっやいますでしょうか？”とお尋ねしましたら、

“いかにも、あなたを知っていますよ”とのお顔つきの様で会釈をされました。

ほんとうはご存じなかったかも知れませんが…

本を2冊買い求められていました。本のタイトルをお尋ねしましたら、1冊は「ほんとうの日本経済」
と他は「戦略的長生きする人の考え方」でした。

10分程でCoffeeを飲まれたら立ち上がり風のように去っていかれました。

なんだか夢のような瞬間でした。

○

長い間、「新老人の会」「元気百倶楽部」の発展の為にご尽力下さり深く感謝申し上げます。

政治は大事



V-22 オスプレイ 17機 佐賀駐屯地へ

(木更津駐屯地(千葉)より 2025年8月12日迄に配備を完了)

2025年7月9日に佐賀空港に隣接して佐賀駐屯地が開設された。

東の方角から「パタパタパタ」と重く低い音が近づき、あの欠陥構造を持った機体が高度を下げながら
新しく完成した大きな格納庫の前に着陸した。

今日を境に佐賀空港は自衛隊共用空港となり、国防の重大拠点となった。

○

佐賀空港へのオスプレイ配備に反対する人々は

- ① 配備計画の撤回
- ② 駐屯地の使用禁止
- ③ オスプレイの危険性
- ④ 佐賀空港の軍事化に懸念を抱く

具体的には、佐賀空港への配備自体が危険を増大
させるとして、地元住民や市民団体による根強い
反対運動や法廷闘争は継続しています。

古賀初次さん(地権者原告)よりひと言

私達の反対を無視した国策事業によって、宝の
海である有明海は魚もとれない死の海になって
いる。このようにしたのは国だ。

地元の私達には耐えられない計画だ。

地権者四人で裁判をしているが、市民原告245
名が支援してくれており心強い限りだ。

オスプレイ 17機は部品等も含めて約30億ドル(約3,300億円)で、機約194億円でアメリカから購入。

機体の値段が高く装甲が薄いので、攻撃に対して脆弱で機構が複雑なため手間がかかる。

そのためか米陸軍は買わない。

まとめ

2014年7月から今年2025年7月の11年間の政府(防衛省)、佐賀県、そして地元漁協の三者の地権者
に対して“札束で頬を叩く”様なふるまいは、明らかに民主主義を踏みにじっていると言えます。

何のためのオスプレイなのか？ 日本の平和とは？ と大きな疑問がわきます

お母さまの看取り

彼岸花が鮮やかに咲く頃、母は旅立ちました。

私の知人のお母様の思い出です。
この9月15日96才で他界なさいました。

以前より心臓・腎臓が悪く、ここ2年程は心不全や腕の骨折で入退院を繰り返していました。入院中は苦しい治療もリハビリも前向きに取り組み、毎回入院前より元気になって退院していましたので、病院では奇跡の人と呼ばれていたようです。今回の入院もいつものように秋には元気に退院できると、私は楽観的に思っていました。

亡くなる前日、いつものように母の好きな飲み物やゼリーを買って見舞いに行きました。慌てた様子の看護師さんから、夕べから食事や水も取れていません…と言われました。唯一楽しみにしていた食事を受け付けられない事は今まで一度もなかったもので、今までとは違う…と直感的に感じました。

言葉をかけながら夕食を少しずつ口に入れようとしたのですが、口を開ける事はなく嫌がって首を振ります。大好きなみかんゼリーも、飲み込む事ができませんでした。母はすぐに横になり、目をつむってしまいました。明日また来るね… と私が言うと、母はウンウンと頷き手を振りました。

夜中2時に電話が鳴りました。血圧がもう測れない状態です、10分で来て下さい！ と看護師さんから言われ、車を走らせました。
(中略)

母は慈愛に満ちた人でした。良い人生だった、ありがとう… と生前、何度も言っていました。 ”最後の日まで一生懸命生きる！ 感謝の気持ちを持ちながら ” 母が身をもって教えてくれた事です。筆めめだった母は、数十冊の日記や私宛の手紙を残していました。それを読み返す度に、もう母はいないのだと実感し涙が溢れます。



同窓会

11月9日に筑紫ヶ丘の同窓会(12時~14時)が、天神の福新楼で催されました。女性9名男性37名 計46名でした。世間で言われるように女性はそんなに見かけが変わりませんが、男性は外見はかわっている人が多いように思われます。この年齢になると健康がどんなに大事であるかという事が思い知らされます。社会的に著名といわれる弁護士、医者、司法書士などの肩書きの人もいます。私は”中村 哲”医師のような人が同窓生にいらしたら、どんなに誇り高いかと思ったりしました。

チャリティーバザーのお知らせ(追加)

2025年のバザー合計金額合計63,530円は夏号にてお知らせした通り下記の団体へ寄付しております。

国境なき医師団(ガザ)	35,000円
ペシヤワール会(中村哲)	15,000円
グリーンピース・ジャパン	5,000円
原子力市民委員会	5,000円
青柳平和連帯基金	2,000円
振入手数料など	1,530円

次回は2026年春 開催予定

後日、「セカンドストリート」にてバザーの品物売り、下記に追加で寄付しましたので報告致します。(計15,000円+送料)

毎日新聞西部社会事業団	5,000円
高木仁三郎市民科学基金	10,000円
(脱原発の核科学者、次世代の市民科学者を育成する為の基金)	
振入手送料	152円

日本の原発の再稼働は許しがたいものがあります。

チロル外国語スクール 50周年の宴

1975年に野間新町にて小さな英語教室をオープン。

振り返れば、はや50年の月日がたちました。(サロン・ド・ソフィア(文化教室)は2007年にオープン)
この日は講師・生徒さん・友人・知人達今までご縁のあった人々の交流の1日にしたいと思います。

2026年 4月12日予定 場所 ソフィア2F

★★催し物(予定)★★

- ・ 熊谷様 「青い目の人形と渋沢栄一」著者 「平和について」のお話し
- ・ 劉セイ(講師) 中国詩について ・ 平田様 歌 ・ 小川画伯 作品展示

詳細は
後日

New ホームページの紹介

チロル 50周年を記念して、この6月~9月の3ヶ月をかけホームページをリニューアルしました。より良いものを作ろうとスタッフで協力して案を出し合い、最終的には制作会社の城島印刷の隈元ディレクターと河野さんのご提案を参考にしながら仕上げることができました。
マルチーズのHoneyちゃん(6才)も登場!!

『チロル外国語スクール』で検索

① 熊谷様(小郡市)

ステキなホームページですこと! ワンちゃんのお出迎え、いいですね
ごてごてしてなくてスッキルしてみやすかったです。

② 松野様(京都府)

拝見しました。50年のソフィアの歩みは、平和への努力の歩みでもあり、素晴らしいですね。素敵!

③ 田島様(春日市)

とても見やすく、お上品な感じですね ✨ チロルに集う方が増えると良いですね (・v・)!!

④ 安中様(千葉県)

HPIは、鞠子さんの努力の集大成の過不足の無いパノラマのような。まだまだこれからも出来る限り続けて行く感じに。 とすると、当座は出来るだけ健康に気を付けてとなるのかな?
作成お疲れ様。刺激をありがとう 🍀

⑤ 加藤様(福岡市)

チロルのお教室 50周年おめでとうございます。先生らしさ満載の素敵なHPで内容も分かりやすく見られた方は、きっと興味持たれるはずだと思います。益々大きくなってチロルのお教室。
黒木先生始めスタッフの方々のこれからの活躍お祈りしています。(・v・)!!

⑥ 上野様(那珂川市)

見せて頂きました。素敵なのが出来ましたね! 50年間、凄いですね。継続していくのは凄いエネルギーのいることですね。頑張ってる事、お忙しいのがとてもよく分かります。時々、HPに訪問させていただきます。これからも頑張ってください。

⑦ 原田様(春日市)

黒木さん、凄いですね !! 感動してしまいました!!
これからも身体には気をつけて、楽しく頑張ってくださいね